

FY24 デンソーグループ サステナ自主点検

#	カテゴリ	設問	回答
	会社情報	デンソーグループサステナビリティ・ガイドラインの内容を確認の上、ガイドラインの順守について同意をお願いいたします。 ご参考：デンソーグループサステナビリティ・ガイドライン https://www.denso.com/jp/ja/-/media/global/about-us/sustainability/society/supply-chain/supply-chain-doc-sustainability-guidelines-ja.pdf?rev=27c3ac74b4944a518828c227316d468f	☐ 「同意」 ☐ 「同意しない」の場合、理由を自由記述
Q1	会社情報	サステナ推進責任者 部署名/ご担当者名/お役職/電話番号/メールアドレス※ 営業担当者 お名前 営業責任者 お名前/お役職/電話番号/メールアドレス	※サステナ推進責任者は、代表権のある方（代表取締役社長、代表取締役など）、あるいはサステナビリティ責任部署（経営企画、総務部門など）の担当役員もしくは部長以上でお願いします。
Q2	会社経営	貴社には行動規範※、またはそれに準ずるものがありますか？ （※社会的、倫理的、環境的側面を含み、従業員と組織の責任や適切な行動を示す一連の規則）	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q3	会社経営	Q2で「はい」とお答えの場合、貴社の行動規範等に関して、以下に該当する場合、チェックを入れて下さい ご参考：デンソーグループ サステナビリティ方針 https://www.denso.com/jp/ja/-/media/global/about-us/sustainability/management/doc-sustainability-policy-ja.pdf?rev=2521c8173d5f402da39e7c6d73990e84	☐ 従業員と組織に関して、責任や適切な行動規則を示している ☐ 該当しない
Q4	会社経営	Q2で「はい」とお答えの場合、従業員の方に対して、行動規範等に関する研修を「どのくらいの頻度で」実施していますか？	☐ 年に一度実施している ☐ 半年に一度実施している ☐ その他頻度で実施している場合はその実施頻度を、実施していない場合は考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q5	会社経営	Q4で「実施している」とお答えの場合、行動規範等に関する研修を「どの従業員の方を対象に」実施していますか。わかる範囲で選択して下さい。	☐ 単体の正社員のみ（除 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 単体の全従業員（含 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 単体と子会社/関連会社の正社員のみ（除 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 単体と子会社/関連会社の全従業員（含 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ その他（自由記述）
Q6	会社経営	Q4で「実施している」とお答えの場合、従業員の方に対して、行動規範等に関する研修を「どのような手段で」実施していますか（複数回答）	☐ 説明会による研修（web開催） ☐ 説明会による研修（面着開催） ☐ E-learningによる研修 ☐ その他（自由記述）
Q7	会社経営	苦情処理メカニズム/救済窓口（従業員の方の苦情を受け付け、救済に繋げる為の体制）を設置していますか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q8	会社経営	Q7で「はい」とお答えの場合、貴社の苦情処理システムの展開範囲に関して、該当するものをわかる範囲で全て選択下さい（複数回答）	☐ 単体の正社員のみ（除 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 単体の全従業員（含 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 関連会社/子会社（国内）の正社員のみ（除 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 関連会社/子会社（国内）の全従業員（含 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 関連会社/子会社（海外）の正社員のみ（除 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 関連会社/子会社（海外）の全従業員（含 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ Tier1仕入先様 ☐ Tier2以降の仕入先様 ☐ その他（自由記述）
Q9	会社経営	Q7で「はい」とお答えの場合、貴社の苦情処理システムに関して、以下項目より、明記できている項目を全て選択して下さい（複数回答）	☐ 明確な苦情処理の責任者（貴社内または外部団体を通じて、苦情処理担当を設けている） ☐ 独立性の高い委託先の責任者 ☐ 明確な苦情処理プロセス/ステップ ☐ 苦情報告時の受領確認の実施 ☐ 申立人の身元の秘匿 ☐ 苦情申立者へ報復を行わないコミットメント ☐ 苦情の匿名報告 ☐ 改善・解決に際しての申立人/その代理人との協議 ☐ 苦情処理手順の有効性の評価（少なくとも12ヶ月に一度/臨時評価） ☐ 苦情申立者による不服手続き ☐ その他（自由記述）
Q10	人権労働条件	労働条件や人権をカバーする正式な方針、またはそれに準ずるものをお持ちですか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q11	人権労働条件	Q10で「はい」とお答えの場合、貴社の人権・労働方針等に関して、以下に該当するものを選択下さい（複数回答）	☐ 取締役以上の経営幹部が合意した正式な文書である ☐ 従業員/ステークホルダーに対して、尊厳をもって接する事が明記されている ☐ 該当なし

Q12	人権 労働 条件	Q10で「はい」とお答えの場合、貴社の人権・労働方針等に関して、以下項目より、明記できている項目を全て選択して下さい（複数回答）	☐ あらゆる雇用の場面における差別の撤廃 ☐ 多様性の尊重 ☐ ハラスメントの禁止 ☐ 児童労働の禁止・若年労働者への配慮 ☐ 強制労働の禁止・適切な移民労働の受け入れ ☐ 適正な賃金及び手当の支払い ☐ 適正な勤務時間の遵守 ☐ 自由な結社と団体交渉の遵守 ☐ 社員との対話・協議 ☐ 安全・健康な労働環境 ☐ その他(自由記述)
Q13	人権 労働 条件	自社やサプライチェーンの人権・労働条件の問題を管理する為のデューデリジェンスプロセス*を導入していますか？ *人権リスク(強制労働 等)を評価/特定し、懸念ある場合には軽減/是正措置を促す為の一連のプロセス	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q14	人権 労働 条件	Q13で「はい」とお答えの場合、以下に該当するものを全て選択下さい（複数回答）	☐ 経営陣に検討され、文書化された管理手順を持つ ☐ 外部機関を活用せず、社内で検討したデューデリジェンスシステムが存在する ☐ 外部機関を活用したデューデリジェンスシステムが存在する(当選択肢に該当する場合、以下「その他」欄へ外部団体名をご記載下さい *任意入力) ☐ その他（自由記述）
Q15	人権 労働 条件	Q13で「はい」とお答えの場合、デューデリジェンスプロセスの取組み実態につき、ご記載下さい。（概要/対象Tier範囲/頻度/確認方法 等）	自由記述：
Q16	人権 労働 条件	調査時点において、外国人技能実習生の受入れはございますか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」
Q17	人権 労働 条件	Q16で「はい」とお答えの場合、技能実習生の本人負担手数料を把握し、不当な費用（送出機関/監理団体への高額な仲介料 等）が技能実習生に請求されていないことを確認していますか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q18	人権 労働 条件	Q16で「はい」とお答えの場合、各技能実習生と定期的にコミュニケーションし、実習生から苦情や不満の声が出ていないか、受入れ企業として確認ができていますか？	☐ 「はい」の場合、コミュニケーションの例を記述 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q19	安全 衛生	法規制、国際基準に準拠した正式な安全衛生方針、またはそれに準ずるものをお持ちですか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q20	安全 衛生	Q19で「はい」とお答えの場合、貴社の安全衛生方針等に関して、以下に該当する場合にはチェックをつけて下さい	☐ 取締役以上の経営幹部が合意した正式な文書である ☐ 該当なし
Q21	安全 衛生	Q19で「はい」とお答えの場合、貴社の安全衛生方針等に関して、以下項目より、明記できている項目を全て選択して下さい。安全衛生以外の方針等で明記できている項目も全て選択して下さい（複数回答）	☐ 個人向け保護具の配備と適切な着用 ☐ 職場における設備機械使用時の安全性の担保 ☐ 重大事故や災害等 発生時の対応マニュアル整備 ☐ ヒヤリハット等 発生時の対応プロセス整備 ☐ 労働者への健康負担の少ない職場形成 ☐ 化学物質・生物化学物質の正しい取扱の徹底 ☐ 平時/有事両面での防火対策の徹底 ☐ その他（自由記述）
Q22	コンプライアンス	企業倫理をカバーする正式な方針、またはそれに準ずるものをお持ちですか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q23	コンプライアンス	Q22で「はい」とお答えの場合、貴社の企業倫理方針等に関して、以下より該当するものを選択下さい	☐ 取締役以上の経営幹部が合意した正式な文書である ☐ 該当なし
Q24	コンプライアンス	Q22で「はい」とお答えの場合、貴社の企業倫理方針等に関して、以下項目より、明記できている項目を全て選択して下さい（複数回答）	☐ 各国・地域の法令順守 ☐ 競争法の順守 ☐ 腐敗防止 ☐ 贈収賄の禁止（接待・贈答および寄付などの承認手続を含む） ☐ 取引先との癒着及び利益相反行為の禁止 ☐ 個人情報・機密情報等の管理・保護 ☐ 輸出取引管理 ☐ 知的財産の保護 ☐ その他（自由記述）
Q25	コンプライアンス	Q22で「はい」とお答えの場合、貴社の企業倫理方針等に関して、従業員に対し、企業倫理に関する研修を実施していますか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q26	コンプライアンス	Q25で「はい」とお答えの場合、貴社の企業倫理方針等に関して、研修をしている項目をわかる範囲で選択して下さい。	☐ 各国・地域の法令順守 ☐ 競争法の順守 ☐ 腐敗防止 ☐ 贈収賄の禁止（接待・贈答および寄付などの承認手続を含む） ☐ 取引先との癒着及び利益相反行為の禁止 ☐ 個人情報・機密情報等の管理・保護 ☐ 輸出取引管理 ☐ 知的財産の保護 ☐ その他（自由記述）

Q27	コンプライアンス	Q25で「はい」とお答えの場合、貴社の企業倫理方針等に関して、従業員の方に対し、企業倫理に関する研修を「どのくらいの頻度で」実施していますか	☐ 年に一度実施している ☐ 半年に一度実施している ☐ その他頻度で実施している場合はその実施頻度を自由記述
Q28	コンプライアンス	Q25で「はい」とお答えの場合、貴社の企業倫理方針等に関して、企業倫理に関する研修を「どの従業員の方を対象に」実施していますか。わかる範囲で選択して下さい。	☐ 単体の正社員のみ（除 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 単体の全従業員（含 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 単体と子会社/関連会社の正社員のみ（除 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ 単体と子会社/関連会社の全従業員（含 派遣社員/受入出向社員 等） ☐ その他（自由記述）
Q29	コンプライアンス	Q25で「はい」とお答えの場合、貴社の企業倫理方針等に関して、従業員の方に対し、企業倫理に関する研修を「どのような手段で」実施していますか（複数回答）	☐ 説明会による研修（web開催） ☐ 説明会による研修（面着開催） ☐ E-learningによる研修 ☐ その他（自由記述）
Q30	環境	環境方針、またはそれに準ずるものを策定されていますか？	☐ 経営幹部が合意した正式な環境方針がある ☐ 取締役以上の経営幹部が合意した正式な環境方針がある ☐ 「策定されていない」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q31	環境	Q30で「環境方針等がある」とお答えの場合、以下より該当するものを選択下さい（複数回答）	☐ 環境マネジメントシステム(ISO14001相当) ☐ 温室効果ガス（GHG） ☐ 汚染（大気・水・土壌） ☐ 省資源・廃棄物削減・資源循環 ☐ 化学物質管理 ☐ 生物多様性保全 ☐ その他（自由記述）
Q32	環境	Q30で「環境方針等がある」とお答えの場合、実施するための貴社のマネジメント体制の構築に関して、以下より該当するものを選択下さい	☐ 下記に該当しない ☐ 体制があり、かつ最高責任者は役員、但し環境関係者のみ巻き込み ☐ 体制があり、かつ最高責任者は役員で、全社的な活動 ☐ 体制があり、かつ最高責任者はトップ役員で、全社的な活動
Q33	環境	Q30で「環境方針等がある」とお答えの場合、毎年の実績を管理している項目について、以下より該当するものを選択下さい（複数回答）	☐ 管理していない ☐ 温室効果ガス（GHG） ☐ 汚染（大気・水・土壌） ☐ 省資源・廃棄物削減・資源循環 ☐ 化学物質管理 ☐ 生物多様性保全 ☐ その他（自由記述）
Q34	環境	貴社のサプライヤーへの環境関連の調達ガイドライン提示の状況に関して、以下より該当するものを選択下さい。	☐ 具体的な取組みなし ☐ デンソーグループ グリーン調達ガイドラインや方針を展開 ☐ 自社独自またはデンソー以外の調達ガイドラインを展開
Q35	責任あるサプライチェーンマネジメント	サプライヤーに対してCSR/サステナビリティに関する要求事項を定めていますか？部分的、または条件付きで定めている場合も「はい」を選択下さい	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q36	責任あるサプライチェーンマネジメント	Q35で「はい」とお答えの場合、貴社からサプライヤーへ展開の要求事項に関して、以下項目より、明記できている項目を全て選択して下さい（複数回答）	☐ 製品・サービスの安全・品質 ☐ 人権の尊重 ☐ よりよい労働環境の実現（労働条件・健康/安全） ☐ 環境保全 ☐ コンプライアンス ☐ 情報開示・ステークホルダーとのコミュニケーション ☐ リスクマネジメント ☐ 責任ある資源・原材料調達 ☐ 社会貢献 ☐ サプライチェーンで全体での取り組み
Q37	責任あるサプライチェーンマネジメント	Q35で「はい」とお答えの場合、貴社からサプライヤーへの要求事項に関して、以下のいずれかの手段を用いてサプライヤーに伝達していますか？該当するものを全て選択下さい（複数回答）	☐ 取引がある全てのTier1仕入先に送付している ☐ Tier2以降仕入先にも送付している ☐ 署名を取り付けている（営業役員以上） ☐ 定期的に遵守のアナウンスをしている ☐ 上記以外の回答（取組みが不足している/より多くの取組みをしている）がある場合、自由記述
Q38	責任あるサプライチェーンマネジメント	Q35で「はい」とお答えの場合、貴社からサプライヤーへの要求事項に関して、サプライヤーが貴社の要求事項を満たしているかどうかを確認する為に、デューデリジェンスプロセスを導入していますか？	☐ 「はい」 ☐ 「いいえ」の場合、考えられるその要因を可能な範囲で自由記述
Q39	責任あるサプライチェーンマネジメント	Q38において、「デューデリジェンスプロセスが存在する」とお答えの場合、以下より該当するものを全て選択下さい（複数回答）	☐ 外部機関でなく、社内で検討したデューデリジェンスプロセスが存在する ☐ 外部機関を活用したデューデリジェンスプロセスが存在する(当選択肢に該当する場合、外部団体名を自由記述) ☐ 具体的な取組内容を自由記述（概要/対象Tier範囲/頻度/確認項目 等）
Q40	責任ある原材料調達	原材料採取・採掘時に社会問題を引き起こす可能性のある材料についてデューデリジェンスプロセスを導入していますか？	☐ はい ☐ いいえ

Q41	責任ある 原材料 調達	Q40で「はい」とお答えの場合、デューデリジェンス を行っている原材料を選択ください。（複数回 答）	☐ アルミニウム/ボーキサイト ☐ コバルト ☐ 銅 ☐ 金 ☐ 天然黒鉛 ☐ 皮革 ☐ リチウム ☐ マイカ ☐ ニッケル ☐ パラジウム ☐ プラチナ ☐ レアアース ☐ ロジウム ☐ 天然ゴム ☐ タンタル ☐ スズ ☐ タングステン ☐ 鉄/スチール ☐ その他
Q42	責任ある 原材料 調達	Q40で「はい」とお答えの場合、デューデリジェンス プロセスの取組み実態につき、ご記載下さい。 （概要/対象Tier範囲/頻度/確認方法 等）	